※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	ビジネス基礎　新訂版　（実教出版）						
副教材等	ビジネス基礎　新訂版　問題集（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・上級学年で学ぶ商業科目がどんな科目なのかを知り、その商業での学びに資する知識をビジネスとはいったい何なのかを通して学びます。
・自分たちが取り巻く環境の中に様々なビジネスが隠れています。
・ビジネスにはどんなビジネスがあって、どんな課題があるのかを自らが考え、周りの人と課題を探求できるような活動も授業に取りいれていこうと考えています。
・技術の取得としては、資格取得として、２種類の検定試験にも挑んでもらいます。（全商珠算・電卓実務検定３級・全商商業経済検定３級）
・授業内では、教科書・問題集(副教材２冊)・電卓を使用します。
・定期試験は、年間５回、検定試験は全商珠算・電卓実務検定３級（６月・１１月）と全商商業経済検定３級（２月）の計３回です。
・１年間、ビジネス基礎を学習することで、皆さんの社会に対する見方が変化することを期待しています。

2　学習の到達目標

・ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。
・ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・商業教育全般の導入として、基礎的な内容なことから、基本的な用語が理解できているか。 ・計算用具を適切に活用することができているか。 ・学習到達確認の一環として、資格取得へ取り組むことができているか。	・ビジネスとは何かを考えることができ、各種メディアを活用し、経済社会の動向を見て考えることができているか。 ・グループ活動において、他者と協働し、伝えたいことが表現できているか。	・ビジネスの諸課題において、学習したことを踏まえ、新たな課題へ取り組むことができているか。 ・検定試験へ挑戦し、学習することができているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期（1学期期末考査まで）	・1章商業の学習とビジネス ・2章ビジネスとコミュニケーション ・3章経済と流通の基礎 ・全商珠算・電卓実務検定３級（普通計算部門）	・1章 1. いざビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス ・2章 1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー 3. 情報の入手と活用 ・3章 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通 ・全商珠算・電卓実務検定3級普通計算部門の練習	a:ビジネスとは何なのかを理解することができ、他の商業科目とビジネス基礎の繋がり、コミュニケーションやマナーの大切さ、経済と流通の関係性を理解することができているか。 b:自分たちの身近なビジネスに関わる内容についてメディアを活用し、学習することができているか。 c:調べて学んだことにより、更なる疑問を解決しようとすることができているか。また、計算用具の活用として検定試験へ挑戦し、取得する目標を達成することができているか。	定期考査 小テスト	定期考査 調べ学習 グループワーク	授業態度 検定試験
2学期（2学期期末考査まで）	・4章さまざまなビジネス ・５章企業活動の基礎 ・6章ビジネスと売買取引 ・7章ビジネス計算 ・全商珠算・電卓実務検定3級(ビジネス計算部門)	・4章 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業 4. 物流業 5. 金融業 6. 情報通信業 ・5章 1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用 ・6章 1. 売買取引の手順 2. 代金決済 ・7章 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用 ・全商珠算・電卓実務検定3級ビジネス計算の練習	a:ビジネスにおいての各種類や企業活動について、業種と業態の違い、すべての業者は、役割は違うが繋がっていることへの理解、売買取引についての知識などの学習をし、理解ができているか。また、ビジネス計算の基礎及び応用を理解し、学習できているか。 b:色々な小売業や卸売業がある中で身近な小売業や卸売業についてなど単元ごとの課題を発見し、考察を行い、調べ、自分の考えをまとめ、発表することができているか。 c: 調べて学んだことにより、更なる疑問を解決しようとすることができているか。１学期同様に計算用具の活用として検定試験へ挑戦し、取得する目標を達成することができているか。	定期考査 小テスト	定期考査 調べ学習 グループワーク	授業態度 検定試験

※令和４年度以降入学生用

3学期	・8章身近な地域のビジネス ・全商商業経済検定3級(ビジネス基礎部門)	・8章 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向 ・全商商業経済検定3級ビジネス基礎部門の練習	a:身近な地域の学習において、まずは日本の現状について学習し、またさらに大阪府の現状についても理解ができているか。 そして地域密着型のビジネスなど地域ビジネスの動向について学習できているか。 b:日本の現状や動向などを理解したうえで、大阪の現状についてグループで協働し、課題について学習したものをまとめ、発表ができているか。 c: 調べて学んだことにより、更なる疑問を解決しようとすることができているか。１年間の集大成として、ビジネス基礎を学習し、理解できているか検定試験へ挑戦し、取得する目標を達成することができているか。	定期考査 小テスト	定期考査 調べ学習 グループワーク	授業態度 検定試験

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度